



大崎建第 291号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

宮城県大崎市長 伊藤 康



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼ありました標記のことについて、
別紙のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

大崎市長 伊藤 康志

時下、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。本市建設行政に対しまして、日頃より格別なるご協力・ご指導を賜っておりますことに厚くお礼申し上げます。

今後の道路政策等に係る標題について意見を申し述べさせていただきます。

今年2月初めに起きた、国道108号の法面崩落による全面通行止めにより、約1ヶ月半に亘り鬼首地区が孤立した状況を考えたとき、補完する道路の必要性を痛感しております。

特に鬼首地区民は、急峻な地形のもと、又、今回のようなことが何時起こるとも限らない不安を抱えながら生活をしていることを考えたとき、千戸を超える世帯が孤立することが絶対あってはならないと思っております。

「道路特定財源の見直しに関する具体策」が示されましたが、道路の整備を熱望する私どもにとりまして、地方の切捨てにつながらないかと大変危惧をいたしているところであります。

災害等によって、一部区間の途絶が全体的な交通の障害にならないような道路ネットワークの構築こそが、今後の道路整備を進めるうえで最優先すべき課題であると考えています。

今後の道路整備にあたっては、本県のような隣接する市町村間の距離がある区域にとっては、地域間の交流や連携のためには道路の整備は最も大切な社会資本であります。

広域化した市町村合併により、市内で完結する県道の管理移管やまちづくり等の県境を越えた交流促進のためには、3桁国道を直轄で実施できるような方向性を見直しを求めるものであります。

また、自動車道のSA・PAを活用したスマートICと一般道との直結は、地域振興の活性化はもとより、利便性や災害時の活用には計り知れない魅力ある施設であり、今後も引き続き整備促進を図っていただきたいと思います。

最後になりますが、大崎市は東北自動車道と国道4号が並行していることから縦軸方向は理想的な道路形態となっておりますが、横軸の強化が喫緊の課題であると捉えており、地域高規格道路の整備促進を切に望むものであります。

地域の特色や地域の事情に即応した道路整備について特段のご高配を賜りますようお願いのほどお願い申し上げます、終わりといたします。